

本会議から付託された議案 12 件を審査するため、3月9日に産業水道委員会を開催しました。

議案第6号 平成23年度総社市一般会計補正予算（第6号）

～内容～

国の補正予算に伴う団体営農道整備に係る経費のほか、事業費の確定見込みなどに伴う補正が主なもの。

～結果～

次のような審査の結果、本委員会の所管に属する部分は、全員一致で原案を可決すべきであると決定。

～質疑～

問：国民宿舎特別会計への繰出金が減額となっているが、理由は何か。

答：指定管理者である株式会社休暇村サービスが、人件費及び維持管理経費を削減したことにより、繰出金を減額したものである。

議案第10号 平成23年度総社市公共下水道事業費特別会計補正予算（第3号）

～内容～

事業費の確定などに伴う補正が主なもの。

～結果～

次のような審査の結果、全員一致で原案を可決すべきであると決定。

～質疑～

問：国庫補助事業費の大幅な減額による補正とのことだが、減額になった理由は何か。来年度以降も考えられることか。

答：今回の補正は、東日本大震災に伴う国の災害地復興への重点配分に伴う減額である。来年度は緊急的な復興への財源について特に聞いていないので、例年どおり県へ要望している。

議案第 11 号 平成 23 年度総社市国民宿舎事業費特別会計 補正予算（第 1 号）

～内容～

事業費の確定見込みなどに伴う補正。

～結果～

質疑，討論もなく，採決の結果，全員一致で原案を可決すべきであると決定。

議案第 13 号 平成 23 年度総社市水道事業会計補正予算（第 3 号）

～内容～

事業費の確定などに伴う補正。

～結果～

次のような審査の結果，全員一致で原案を可決すべきであると決定。

～質疑～

問：企業債の減額がかなり大きいですが，理由は何か。

答：企業債の減額は，合併創設第一次変更認可事業の工事費の減額とクリプト対策事業費の減額によるものである。主な理由は，合併創設第一次変更認可事業が当初の予定より少ない費用でできたことである。

クリプト対策については本市で初めての事業であり，予算を多めに見積もっていたが，入札の結果減額が大きかった。

議案第 24 号 総社市農林業施設整備事業分担金徴収条例の 一部改正について

～内容～

地域主権一括法による土地改良法等の改正に伴い，関係条文の整備をしようとするもの。

～結果～

質疑，討論もなく，採決の結果，全員一致で原案を可決すべきであると決定。

議案第 25 号 字の区域の廃止について

～内容～

民間事業者による岡山総社インターチェンジ流通センター造成事業の施行に伴い、この事業整備後の地形に合わせるために字の区域を廃止しようとするもの。

～結果～

質疑、討論もなく、採決の結果、全員一致で原案を可決すべきであると決定。

議案第 26 号 総社市公共下水道事業区域外流入受益者分担金条例の一部改正について

～内容～

地域主権一括法による下水道法の改正に伴い、関係条文の整備を行おうとするもの。

～結果～

質疑、討論もなく、採決の結果、全員一致で原案を可決すべきであると決定。

議案第 34 号 平成 24 年度総社市農業集落排水事業費特別会計予算

～結果～

次のような審査の結果、全員一致で原案を可決すべきであると決定。

～質疑～

問：最初の区域に施設ができてから、どれくらいの年数が経過しているのか。
また、施設の修繕は、どのような基準で行っているのか。

答：一番古いもので、昭和 59 年に山手の岡谷、平山、宿地区に施設を整備している。施設の修繕は耐用年数等による取替えではなく、機器の老朽化により行っている

問：公債費の比率が大きいが、今後の推移はどのようになっているのか。

答：償還については元利均等方式で行っているので、新規事業がない限り、大体 1 億 5 千万円くらいで推移していく予定である。

議案第 35 号 平成 24 年度総社市公共下水道事業費特別会計予算

～結果～

次のような審査の結果，全員一致で原案を可決すべきであると決定。

～質疑～

問：平成 24 年度，新たに管路を整備する予算はどれくらいか。

答：工事請負費 2 億 7 9 0 万円のうち，約 2 億円を充てる予定である。

問：下水道協会が，国，中国四国地方，県とあり，それぞれに負担金を支出しているが，必要な支出であるのか。行政改革を進める上で，将来見直す必要があるのではないか。

答：機会があれば，提言としてそれぞれの機関に働きかけていきたい。

議案第 36 号 平成 24 年度総社市国民宿舎事業費特別会計予算

～結果～

次のような審査の結果，全員一致で原案を可決すべきであると決定。

～質疑～

問：営業収入を前年度と同額で見込んでいるが，どのような根拠で算定したのか。

答：1 月末までの実績で，平成 23 年度は前年度と同程度の営業収入を見込める状況である。このことから，平成 24 年度においても，前年度と同額の営業収入を計上している。

問：利用者を増やすため，どのような方法を考えているか。

答：指定管理者に努力していただくことになるが，毎月 1 回は担当者指定管理者とで打合せをしている。平成 23 年度は平成 22 年度よりセールスを増やし，四季に応じた様々なツアーを行うなど努力している。

議案第 38 号 平成 24 年度総社市水道事業会計予算

～結果～

次のような審査の結果、全員一致で原案を可決すべきであると決定。

～質疑～

問：赤字を減らす企業努力が必要であるが、簡易水道事業における一般会計からの補助金の推移はどのようになっているのか。

答：平成 24 年度予算では、2 億 6 千万円の予定である。平成 12 年から毎年昭和簡易水道の工事を行っており、平成 24 年度も引き続き工事が予定されているため、一般会計からの補助金は、しばらくの間継続するものと思われる。

議案第 39 号 平成 24 年度総社市工業用水道事業会計予算

～結果～

次のような審査の結果、全員一致で原案を可決すべきであると決定。

～質疑～

問：清音神在本線の整備により、富原水源地の第一取水井を移転することのことだが、場所はどの辺りになる予定か。

答：現在の第一取水井から 10 メートル以内の場所でボーリング調査を行い、第一取水井と同等の能力のある井戸が見つかりつつある。

一般会計予算審査特別委員会から分担された部分を審査するため、3月9日に産業水道分科会を開催しました。

議案第 30 号 平成 24 年度総社市一般会計予算

～結果～

次のような審査の結果、本分科会に分担された部分については、全員一致で可決すべきであると取りまとめることに決定。

～質疑～

問：浄化槽設置整備事業補助金が毎年計上されているが、浄化槽設置数の推移はどのようになっているか。

答：毎年、概ね 110 基を予算計上している。実績では、平成 22 年度が 107 基、平成 21 年度が 103 基であり、110 基以内でおさまっている状況である。

問：地産地消の直売所で、農業公社リブ総社店は手数料として売り上げの一定の割合を、サン直広場は寄附金として定額を支払っているとのことだが、このバランスをどのように考えるか。

答：サン直広場ええとこそうじゃ組合は市の機関ではないが、組合の収支状況を確認したうえで検討していきたい。